

会 議 録

会議の名称	平成30年度所沢市自立支援協議会 第2回定例会
開催日時	平成30年11月21日(水) 午前10時から午前11時30分まで
開催場所	所沢市役所7階研修室
出席者の氏名	会 長 鈴木 喜代子 副会長 谷田 悦男 委 員 北 敦夫、 鈴木 恭子、 小林 ヒデ子、 服部 万理子、 宮武 奈津、 楠田 房雄、 綾部 美由紀、野崎 裕子、 豊田 淳一、 櫻場 敬子、 青木 咲奈枝、 栗原 理枝子、 後呂 由紀子、小野寺 耕二、 沼倉 二美子、 篠崎 雅江、 金子 圭秀 所沢市基幹相談支援センター 相談員 小内 正秋
欠席者の氏名	委 員 加木屋 小夜里、 後藤 かほり、 笛木 由美、 大門 竜司、 三枝 将史、 鈴木 芙実、
議事	1 平成30年度上半期各部会活動報告について 2 平成30年度上半期所沢市相談支援事業業務委託事業報告について 3 その他
会議資料	・ 次第 ・ 部会活動報告書 ・ 相談支援事業報告
担当部課名	事務局 福祉部障害福祉課 課 長 森田 悟 福祉部障害福祉課 副主幹 松井 優子 福祉部障害福祉課 主 査 長谷川 康則 福祉部障害福祉課 主 査 鈴木 和之 福祉部障害福祉課 主 任 山田 翔太 福祉部障害福祉課 主 任 星野 啓 福祉部障害福祉課 主 事 林 真琴 こども未来部こども福祉課 副主幹 廣谷 貴紀 保健センター健康管理課 主 幹 山崎 英雄 保健センター健康管理課 主 査 小野寺 健 福祉部障害福祉課 04-2998-9116

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	1 開会
事務局（市）	<ul style="list-style-type: none"> 協議会に関して、会議は所沢市情報公開条例第25条により原則公開であること、会議録の記載方法については要約方式をとること、発言者名の記載については省略とすることの確認。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 開会あいさつ
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 委員の変更について 地域生活支援センター 所沢どんぐり、 アリスの夢 訪問看護ステーション
会長	<ul style="list-style-type: none"> 傍聴希望者数の確認。（傍聴希望者3名）
	2 平成30年度上半期各部会活動報告について
委員 （さぼっと）	<p>こども部会平成30年度上半期活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例部会3回、事例検討会4回開催。 「医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置」に向けた事前協議を実施。ケース共有を行う現場会議と、関係機関向けの勉強を行う情報交換会を開催していく。 5月に懇親会を開催し、13機関20名が参加。 8月に放課後等デイサービス事業所見学会を開催。見学先は木子里テラスとLITALICOジュニア所沢教室。 課題は、第4次所沢市障害者支援計画の推進に向けた進捗管理、不足する社会資源の提供体制の整備・充足に向けた取り組みの検討、新たな地域課題の抽出、学齢期の関係機関とのネットワーク構築・強化。 今後、定例部会3回、事例検討会2回、事業所向け研修会を順次実施予定。
委員 （どんぐり）	<p>こころ部会平成30年度上半期活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例部会5回開催。ケース共有や事業所の近況報告、市内就労移行支援事業所による説明会、所沢市精神障害者アウトリーチ支援事業に関する研修会を行った。 今後、職員交換研修を実施予定。医療機関とのケース共有方法も検討していく。
委員 （基幹相談支援センター）	<p>くらし部会平成30年度上半期活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例部会を3回開催。災害時の障害者支援、差別解消、不足する地域資源に対する協議を行った。 地域の防災訓練について、市立障害者通所支援施設の利用者・保護者を対象にアンケート調査を実施した。ほとんどの当事者が訓練には様々な理由で参加していなかったが、関心はあり配慮があれば参加してみたいという回答が半数あった。引き続き課題解決に向けた協議を行っていく。

	<ul style="list-style-type: none"> 差別解消については、差別事例が挙がらないことが課題。相談窓口や条例出前講座の周知啓発を行い、実際に差別があった際の委託相談支援事業所やくらし部会の役割・機能の見直しについて検討していく。
委員 (基幹相談支援センター)	<p>しごと部会平成30年度上半期活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例部会を3回開催。 事業所間の連携強化を図る目的で市内就労関係機関一覧表を作成中。今年度中に配布予定。 就労移行に関する課題解決に向け、課題抽出・移行支援推進のための協議を進めている。 イベントの企画や仕事の間を作っていくための協議を進めている。
委員 (基幹相談支援センター)	<p>相談支援部会平成30年度上半期活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例部会を4回、グループスーパービジョン研修を1回開催。報酬改定に伴う情報交換や、グループホームの現状と課題について事業所と情報共有を行った。 引き続き、特定相談支援事業所の新規開拓・フォローアップ体制の確立について検討していく。
	質疑応答・意見交換
委員 (ゆうき福祉会)	<ul style="list-style-type: none"> グループホームの現状と課題について、具体的に説明して欲しい。
委員 (基幹相談支援センター)	<ul style="list-style-type: none"> 最近は民間企業によるグループホームの立ち上げが多いが、入居体験が1日だけなど、日数が少ない。本人の課題について認識不足のまま支援を開始するためか、問題があった時に対応できず退居になってしまった方もいる。ノウハウがないため重度の障害者を受けられないほか、虐待案件も発生している。外部からの意見を取り入れられるような研修の実施や支援体制の強化について、支援を検討していく。
委員 (Lino)	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者等一時宿泊事業について具体的に説明して欲しい。
こころの健康支援室	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度から事業を開始しており、本人または家族が利用できる事業。家族の場合は本人からの一時的な避難を対象としており、1回につき最長3日間利用できる。本人の場合は、生活の状況を整えれば病状を悪化させずに地域に戻ることができるかと判断された方や、一人暮らしの体験をしたい長期入院者が対象となる。賃貸アパートの1室で1回につき最長7日間まで静養できる。昨年度(10月～

	<p>3月)は56泊、今年度(4月～現在)は69日の利用実績となっている。グループホームに入居していた方が一人暮らしに移行するなど、一定の効果があらわれている。</p>
<p>委員 (高齢者支援課)</p> <p>委員 (基幹相談支援センター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の障害者支援については、高齢者にも同様の支援が必要と考える。市立通所施設へのアンケートはどのように説明・配布したのか。また集計結果はどうしたのか。 ・ 市立障害者通所施設の長に趣旨を説明し、施設経由でアンケートを配布・回収した。結果については資料を各施設に送付した。災害時に避難支援が必要な方への支援方法等については各地域で対応してもらっていたが、進んでいない。くらし部会として推進できることを継続して検討していく。
<p>委員 (就労支援センター)</p> <p>委員 (どんぐり、基幹相談支援センター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ こころ部会の就労移行支援事業の支援体制と支援内容・実績の説明会があったが、精神障害者の定着支援についてはこころ部会の中で議論が進んでいくのか。 ・ 部会の中で困難事例の共有や情報交換を行っている。説明会では就労移行支援事業の具体的な説明と課題について説明を受けた。定着支援に焦点を置いて議論を継続していくというよりは、地域課題の話し合いの中で定着支援についても議論を進めることになるとと思われる。
<p>委員 (しのひ)</p> <p>委員 (基幹相談支援センター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ くらし部会で災害時の障害者支援者の対応について話し合うのか。 ・ 支援者の対応についての議論までは至っておらず、当事者への支援方法について、モデル地区を決めて防災訓練への支援体制等を協議することを検討している。
<p>委員 (しのひ)</p> <p>委員 (基幹相談支援センター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労支援B型事業所の利用者の職業評価ができる実習先がない。実習先の開拓については議論しているのか。 ・ 実習先については、施設外就労先を事業所間で共有することができないかという意見も出ている。現在は働く場の確保を目的に、既存の利用者への支援を強化しているが、就労一步手前の利用者の後押しをするためにも、アセスメントや体験の場の確保は課題であり、今後協議していく。
	<p>3 平成30年度上半期所沢市相談支援事業業務委託事業報告について</p>
<p>委員 (各委託相談支援事業所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業所の相談員から資料2に沿って説明。

	質疑応答・意見交換
委員 (民生委員・児童委員連合会)	<ul style="list-style-type: none"> 所沢市はこども食堂の数が県内でも非常に多い。精神・発達障害児に対して何かできることがあるのではないか。この外に金山町で「金山食堂誰でもランチ会」を開催し、子供からお年寄りまで一緒に炊事・食事をしている。引きこもりだった方が活動に数年間参加し、就労に繋がったという事例も聞いたので、是非当事者に紹介して欲しい。
委員 (さんとめ)	<ul style="list-style-type: none"> 老健さんとめでも、月に1回、誰でも参加できる食事会をしている。0歳児を預けて食事することもできる。地域で支えられる活動の一つとして利用・紹介して欲しい。
委員 (さんとめ)	<ul style="list-style-type: none"> ぽぷりの報告について、利用者のニーズに応えられていないサービスというのは具体的にはどのようなものか。
委員 (ぽぷり)	<ul style="list-style-type: none"> 本人と家族の余暇に対するサービスや宿泊体験の要望に対し、地域資源が不足であることを起因として、事業所が対応できていないと感じている。
委員 (さんとめ)	<ul style="list-style-type: none"> 現在老健さんとめの短期入所は、医療型が10名、福祉型が5名利用している。障害者の短期入所の利用については、緊急時の利用前に、一度体験利用の相談もして欲しい。
委員 (ゆうき福祉会)	<ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービスの充足について、市の障害福祉計画で数値的目標を立てているが、実際に事業所の稼働状況等は把握できないので、市と一緒に自立支援協議会で具体的な対応策を検討していくべきである。 来年4月に開所となる当法人グループホームについて、他のサービス利用者に家族説明会を行った。定員は7床だが、希望者は28人で、県外からも問い合わせがある。 民間企業の運営するグループホームはサービスの質が問題視されている。法人への指導・監査は県が管轄だが、市としてグループホームのサービス基準値を示して欲しい。 法人として生活困窮者の支援も始めた。面談を通して手帳を取得したほうが良いのではないかと多くいる。手帳がなく、地域に隠れた障害のある方を支えるための取り組みも必要であり、検討して欲しい。 人材については確保だけでなく、育成も課題である。 <p>意見提起ということだったため、回答は不要となった。</p>
委員 (障害児者を守る所沢連絡会)	<ul style="list-style-type: none"> 「医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置」について、当事者が参加するための配慮、または当事者の声が会議に反映される工夫をして欲しい。訪問看護の学校

こども福祉課	<p>への派遣は利用料負担が大きく、軽減策を検討して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議の場については、平成30年度末までに設置する予定であり、保護者参加についても検討していく。訪問看護については、引き続き学校と連携し、福祉サービスの利用等により保護者の介護負担の軽減に努めていきたい。
委員 (障害児者を守る所沢連絡会)	<ul style="list-style-type: none"> グループホームは運営面での心配もあるが、施設数が圧倒的に少ない。市として用地・人材確保等の支援の充実をして欲しい。また、市は日中サービス支援型の整備を進めたいと聞いたが現状はどうなっているか。
障害福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 市としても重度障害者や医療的ケア者が利用できるグループホームを増やしていきたいと考えており、法人との話し合いや市外の医療的ケア対応グループホームの視察等を行った。日中サービス支援型のサービス費報酬が少なく、経営が困難であると聞いている。市の補助についても検討しているが、現段階で日中サービス支援型の指定をとる法人はない。既存のグループホームにも医療的ケア者の対応について相談をしている。
委員 (障害児者を守る所沢連絡会)	<ul style="list-style-type: none"> 各部会は非公開となっているが、それぞれに当事者を入れることは可能か。災害対策について、危機管理課にもくらし部会に参加して欲しい。
障害福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 各部会では支援者が個別ケース事例の検討等を行っているため、全ての部会に当事者を入れることは現在考えていない。
委員 (障害児者を守る所沢連絡会)	<ul style="list-style-type: none"> 障害者の介護保険サービス優先について、利用料補助の市の実施時期はいつごろか。
障害福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険サービスの利用料補助については、担当課や国保連と準備をしており、時期は未定。
	4 その他
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活支援拠点の整備について進捗報告 埼玉西武ライオンズ優勝パレードについて
副会長	<ul style="list-style-type: none"> 閉会挨拶
	閉会